

## 国土交通省、環境省交渉メモ

注:このメモは小西の覚書から作成したものであり、内容に関しては不正確な点がありうることに留意下さい。

日時：2014年2月26日（水）15：45～16：30

場所：参議院議員会館 B109 号室

出席：国交省；キタ、カシワギ、マツムラ、イリグチ

環境省：サトウ、アナン

### 国交省

質問 1：生資料の提供・公開、住民との直接交渉への働きかけ

回答 2：国交省として JR に話し合いをしろということは考えていない。法にも説明しろとは書いていない。静岡議会の件にしても、法に書いていないことはできない。県の環境影響評価審査会に JR が出席し、その中で討議される。生資料の公表に関しては、必要であれば公開を要請する。

質問 2：JR 東海に対する財政的支援の考え

回答 2：交通政策審議会で、財務状況を検討しており、妥当と考えている。財政支援の考えは、現時点ではない。

質問 3：リニアにこだわる理由。在来型新幹線に切り替える考え。

回答 3：リニアは高速性において在来線より優れている。その点で、費用対効果大きい。

質問 4：地方の発展にリニアは役立つのか。

回答 4：リニアの駅は空港と同じ効果と考える。中間駅におけるストロー効果は承知しているが、現行の新幹線もある。

質問 5：安全対策

回答 5：JR は最新の耐震基準を適用している。地下からの避難が不十分とは考えていない。安全性に関しては、個別に慎重審査を行う。

質問 6：発生土等住民の不安や疑問に対する対応

回答 6：評価書の段階で審査する。発生土に関しては事後調査を行う。影響がないよう指導する。

質問 7：外国がこの技術を受け入れる可能性

回答 7：アメリカのワシントン DC からニューヨーク間は東京一大阪に匹敵すると考えている。判断はアメリカがすることである。

質問 8：住民意見をどのように受け止めているか。

回答 8：心配の声が大きいことは承知している。JR にしっかりと説明をさせる。JR も徐々にデータを公開している。電磁波についてもデータを公開した。

（会場からの質問）

質問 1：名古屋の公聴会では JR が出席を拒否した。これは民間の事業であり、予算執行手続きがないことが問題である。

回答 1：工事に入るにあたっては、地権者、関係者と話しあることになっている。住民グループとの話し合いに関しては指導は困難である。皆さんの声に関しては JR に真摯に伝える。

質問 2：採算性について

回答 2：全額自己負担が前提である。

質問 3：猛禽類等の現地調査について

回答 3：現地調査、地元情等を集め、事後調査も行う。営巢の保全、移植等の対応をとる。

質問 4 : 活断層、ウラン鉱脈に対する影響

回答 4 : 環境・社会への影響を最小限にするよう努める。必要なら軽減策も講じる。

質問 5 : 電磁波に対する 12 月の調査報告は不十分である。JR にきちんとデータを公表させてほしい。

回答 5 : 技術評価委員会で問題ないと判断した。周波数のデータは若干不足していると感じている。今後説明していく必要があり、JR に伝える。ICNIRP の基準を守るよう指導していく。

質問 6 : 3~4 ガウスの被ばくで癌が増えるというデータがある。リニアの被ばくはその 1 万倍である。

回答 7 : ICNIRP の基準を守る。

質問 8 : 浜岡原発との関係は

回答 8 : 原発との絡みは把握していない。

質問 9 : 超伝導を使用する MRI でクウェンチ現象が頻発しているが

回答 9 : MRI の件は把握していない。宮崎実験線ではクウェンチが発生したが、山梨では起きていない。技術的に解消したと考えている。

質問 10 : 時速 500km で走る時の風圧の問題

回答 10 : 山梨で実験している。技術的に解決している。さらに検証を進める。

質問 11 : 区分地上権について

回答 11 : 事業者の判断で補償している。

質問 12 : 世界 12 月号の橋山論文は読んだか

回答 12 : 読んでいない。

質問 13 : 避難に関しては最悪のケースを想定したシナリオを

回答 13 : 明確な回答なし。

質問 14 : 駅へのアクセスが悪く、時間がかかる。費用対効果が大きいとは思えない。

回答 14 : それほど悪くない。東京一大阪間が最終目的である。

質問 15 : 国費は出さないと言いながら、税金は免除しているではないか。

回答 15 : 補助金は出さないという意味である。整備新幹線であり、後方支援である。

質問 16 : 問題が解決するまで回答を出さないでほしい！！

## 環境省

\* 質問 8 を除くその他質問全てに対して「現時点では情報収集中であり、評価書が出された時点で評価を行う」という回答であった。

質問 8 : ユネスコパークの登録が、生物多様性を理由として否定された時の対応は

回答 8 : 回答書次第である。拒否の理由書を確認して適切な対応を行う。

(会場からの質問)

質問 1 : 猛禽類について

回答 1 : 県から意見書が出されているはずである。JR も対応するだろう。きちんと見ていく。

質問 2 : 景観に対する影響が、遠景は「影響が小さい」、近景は「新たな調和のとれた景観」と全ての準備書で〃 文言であり、いい加減だ。JR は専門家の意見によるとしている。Fax で専門家の名前の調査を依頼したがどうなっているか。

回答 2 : 専門家の名前は回答できないとの事であった。